

語り継がれる人生に、ヴィンテージな一枚を。



PLATINUM

¥21,000 Tax Included/Invitation Only



GOLD

¥10,500 Tax Included



BLUE

¥3,150 Tax Included



PEARL

¥1,050 Tax Included(カードご利用で無料)

至高のサービス・圧倒的なポイントプログラム セゾンカード革新のラインナップ
SAISON AMERICAN EXPRESS® CARD

www.saison-amex.jp



クレディセゾンは、
サッカー日本代表を応援しています。



©JLEAGUE PHOTOS / 東日本大震災 復興支援チャリティーマッチ なでしこジャパン vs なでしこリーグ選抜(2011.8.19)



©JLEAGUE PHOTOS / キリンチャレンジカップ2012 対アゼルバイジャン代表戦 先発メンバー(2012.5.23)

株式会社クレディセゾン 営業のご報告
2011年4月1日～2012年3月31日〈第62期〉

クレディセゾングループの経営理念

私たちは「サービス先端企業」として

「顧客満足主義の実践」

「取引先との相互利益の尊重」

「創造的革新の社風創り」

の3点を共通の価値観として浸透させ

競争に打ち勝ち、お客様、株主の皆様

そしてすべての取引先の皆様の期待に添うように
チャレンジを続け社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆さまへ

株主の皆さまに、当社の第62期（2011年4月1日～2012年3月31日）決算につきまして、ご報告申し上げます。

政治・経済の混迷が続くなか、日本経済は東日本大震災の発生により大きく影響を受けたものの、復旧・復興に伴い企業活動や個人消費は緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方、欧州の債務危機を背景とする海外経済の減速懸念や円高の長期化など、世界同時不況の様相を呈しましたが、新興国および米国経済が堅調に推移したことなどにより、最悪の事態は脱したかにみえます。

クレジットカード業界は、貸金業法・割賦販売法の規制強化により、ビジネスモデルの転換を余儀なくされるなど、引き続き創業以来最も困難な経営環境ともいえる状況にあります。

このような環境のもとで当社は、個人消費の約6割を占める現金市場を打ち崩す施策展開によるカードビジネスを核としたキャッシュレス決済の拡充、リース事業やファイナンス事業などノンバンク化の推進による収益源の多様化、ネットビジネス強化によるフィービジネスの拡充など、持続的成長を実現する基盤構築に邁進してまいります。

当期におきましても、「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」など稼動効率の高いプレミアムカードの獲得強化や、資本系列や業態にとらわれない多様な有力企業とのコラボレーション戦略によるカード利用特典の強化を通じた取扱高の拡大に努めました。

また、「永久不減ポイント」でのネットショッピング決済などネットサービスの機能向上、プリペイドカードや中国銀聯など新たな決済機能の提供、リースや信用保証、フラット35などファイナンス事業の推進により、収益力の多様化に取り組みました。

さらに、債権リスクへの対応強化や費用対効果を踏まえた構造改革や効率化にも努めてまいりましたが、総量規制の影響によりカードキャッシング残高が前期比28.1%減と激減したほか、期初に当社が(株)そごう・西武と行っていた提携カードイシュー事業を(株)セブンCSカードサービスへ承継したことに伴い、カード会員数や取扱高などが前期比で減少いたしました。

しかしながら、(株)セブンCSカードサービスをはじめ、カード合弁各社の事業基盤拡大は、当社グループ全体としてのカードマーケットシェア拡大に寄与するものと考えております。

これらの結果、当期末の当社カード会員数は2,475万人、資本提携カード会社を含めた当社グループ全体のカード会員数は3,517万人、グループ全体のショッピング取扱高は約5.5兆円となっております。

当期における業績は、連結営業収益2,440億9百万円（前期比14.6%減）、連結経常利益385億90百万円（前期比14.3%増）、連結当期純利益94億53百万円（前期比26.3%減）となりました。

厳しい経営環境ではありますが、当社は今後とも独立したノンバンクとして「サービス先端企業」を企業活動の原点に、みずほフィナンシャルグループをはじめ多くの企業とコラボレーション戦略を推進し、カードの魅力拡大と提携企業への売上貢献を目指し、収益基盤の強化と新たな成長機会の追求に努め、企業価値の最大化を通じて株主の皆さまのご期待に応えていきたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年6月 代表取締役社長 林 野 宏



(1)「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」のサービス拡大

ステータス性とサービス性を兼ね備えた「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」を当社の最重要戦略商品として位置づけ、同カードと親和性の高い顧客を持つ企業とのコラボレーションにより、新たな開拓チャネルの開発に努めるとともに、サービス提携を実現いたしました。

- ・ 企業の営業課題解決に特化した事業を展開する「ソフトブレーン(株)」と提携(5月)
- ・ オンライン旅行サイト「エクスペディアホールディングス(株)」と提携(6月)
- ・ ワークスペースソリューションプロバイダー「日本リージャス(株)」と提携(8月)
- ・ 国内大手美容室「(株)アッシュ」と提携(12月)



(2) WEBを活用した商品・サービスの提供

■永久不滅ポイントでネットショッピングのお支払いができるサービス「永久不滅ウォレット」を開始

カード業界で初めてネットショッピングの代金を、永久不滅ポイントでお支払いいただけるサービスを開始いたしました。さらに、当社が運営するポイントサイト「永久不滅.com(ドットコム)」に出店する対象ショップなら、「永久不滅ウォレット」のご利用でもポイントが貯まるなど、お客様のニーズにあったサービスの展開に努めております。

■ヤフー(株)との業務提携

日本最大級のインターネット企業、ヤフー(株)と業務提携し、「Yahoo! JAPAN」と「Netアンサー・アットユーネット!」のID・ポイント連携を実現いたしました。



(3) 中国銀聯と包括的提携

中国銀聯、(株)みずほ銀行、ユーシーカード(株)と提携し、銀聯カードの加盟店開拓をはじめ、お客様のニーズにあった商品・サービスの開発・提供を目指すとともに、相互のリテール事業の発展に資する業務提携の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。



(4) (株)セブンCSカードサービスにそごう・西武カード事業を分割

2011年4月1日から、(株)そごう・西武との提携カードイシューア事業を担う(株)セブン・フィナンシャルサービスとの合併会社(株)セブンCSカードサービスが新たにスタートいたしました。今後、(株)セブン・フィナンシャルサービスと一体となったカード運営により、会員様の利便性向上を図ってまいります。

(5) リース・ファイナンス事業

■リース事業

リースにおいては大手メーカー系を中心とした販売店との提携関係を強化いたしました。また、LEDなどの節電需要におけるレンタル案件の開発を推進いたしました。

■信用保証事業

事業性資金にも利用できるフリーローンの保証に特化して取り組んでおります。当社の強みであるマーケティング力を活かしたローン販売のサポートにより、多くの金融機関からご好評をいただき、当期末の提携金融機関は308先(前期比16%増)、保証残高は1,655億円(前期比5%増)となりました。

■フラット35

長期固定金利住宅ローン【フラット35】の取り扱いを行っております。セゾンカード・UCカード会員様向けの特典やクレジットカードで培ったセゾnbrランドへの信頼感・安心感をご評価いただき、2011年12月末には累計取扱高が1,000億円を突破し、2012年3月末の残高は4,220件、1,125億円に達しました。

(6) 不動産事業の再構築

2012年2月29日、当社グループの資産効率向上の観点から連結子会社(株)アトリウムの事業再建をより迅速かつ機動的に実行するため、同社の保有する不動産開発案件の計画の見直しと事業再編を発表いたしました。これにより同社の再建を早期に実現させ、当社の中核事業であるクレジットカード事業ならびにインターネット領域におけるマーケティング・広告事業、ファイナンス事業へ経営資源を集中することで、最強のノンバンクになることを目指してまいります。

連結貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,814,916	流動負債	824,713
現金及び預金	60,085	支払手形及び買掛金	240,949
割賦売掛金	1,379,146	短期借入金	234,190
リース投資資産	218,389	1年内返済予定の長期借入金	192,124
その他営業債権	629	1年内償還予定の社債	10,225
営業投資有価証券	16,616	コマーシャル・ペーパー	32,000
販売用不動産	183,784	1年内返済予定の債権流動化借入金	41,079
買取債権	10,315	リース債務	1,973
その他のたな卸資産	1,251	未払法人税等	9,465
繰延税金資産	12,467	賞与引当金	1,984
短期貸付金	6,310	役員賞与引当金	153
その他	21,092	利息返還損失引当金	13,246
貸倒引当金	△95,172	商品券回収損失引当金	182
固定資産	340,638	割賦利益繰延	5,840
有形固定資産	63,136	その他	41,298
建物（純額）	25,584	固定負債	975,465
土地	26,486	社債	210,662
リース資産（純額）	4,968	長期借入金	619,722
建設仮勘定	150	債権流動化借入金	44,872
その他（純額）	5,946	リース債務	2,953
無形固定資産	98,938	役員退職慰労引当金	92
借地権	970	債務保証損失引当金	4,067
ソフトウェア	18,041	瑕疵保証引当金	16
リース資産	95	ポイント引当金	70,661
その他	79,831	利息返還損失引当金	11,573
投資その他の資産	178,563	資産除去債務	830
投資有価証券	84,365	負ののれん	329
長期貸付金	10,237	その他	9,683
差入保証金	5,966	負債合計	1,800,178
繰延税金資産	76,174	純資産の部	
その他	4,077	科目	金額
貸倒引当金	△2,257	株主資本	344,186
繰延資産	350	資本金	75,929
社債発行費	350	資本剰余金	84,838
資産合計	2,155,906	利益剰余金	189,535
		自己株式	△6,116
		その他の包括利益累計額	8,508
		その他有価証券評価差額金	10,044
		繰延ヘッジ損益	△1,535
		新株予約権	0
		少数株主持分	3,032
		純資産合計	355,727
		負債・純資産合計	2,155,906

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

科目		金額	
営業収益			
クレジットサービス事業収益			197,494
リース事業収益			14,645
ファイナンス事業収益			15,445
不動産関連事業利益			
不動産関連事業収益	49,814		
不動産関連事業原価	46,847		2,966
エンタテインメント事業利益			
エンタテインメント事業収益	76,603		
エンタテインメント事業原価	63,613		12,990
金融収益			466
営業収益合計			244,009
営業費用			
販売費及び一般管理費			192,184
金融費用			19,958
営業費用合計			212,143
営業利益			31,865
営業外収益			6,962
営業外費用			237
経常利益			38,590
特別利益			
関係会社株式売却益	7,140		
災害損失引当金戻入額	5,492		
債権売却益	433		
投資有価証券売却益	173		
その他	17		13,256
特別損失			
関係会社事業整理損失	59,795		
退職給付制度改定損	1,658		
投資有価証券評価損	569		
固定資産処分損	265		
災害による損失	210		
減損損失	47		
その他	15		62,561
税金等調整前当期純損失			10,714
法人税、住民税及び事業税	12,966		
法人税等調整額	△33,487		△20,521
少数株主損益調整前当期純利益			9,806
少数株主利益			353
当期純利益			9,453

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,561,470	流動負債	788,279
現金及び預金	49,974	支払手形	2
割賦売掛金	1,222,514	買掛金	240,663
リース投資資産	218,479	短期借入金	231,990
営業投資有価証券	16,616	1年内返済予定の長期借入金	173,929
商品	113	1年内償還予定の社債	10,000
貯蔵品	1,021	コマーシャル・ペーパー	32,000
前払費用	753	1年内返済予定の債権流動化借入金	41,079
繰延税金資産	9,999	リース債務	1,243
関係会社短期貸付金	84,759	未払金	4,137
未収入金	12,183	未払費用	15,489
その他	4,500	未払法人税等	9,098
貸倒引当金	△59,445	預り金	5,982
固定資産	497,614	前受収益	722
有形固定資産	19,166	賞与引当金	1,273
建物（純額）	6,558	役員賞与引当金	153
車両運搬具（純額）	0	利息返還損失引当金	11,617
器具備品（純額）	2,510	商品券回収損失引当金	182
土地	6,904	割賦利益繰延	5,840
リース資産（純額）	3,059	その他	2,874
建設仮勘定	133	固定負債	948,653
無形固定資産	49,151	社債	210,000
借地権	14	長期借入金	601,090
ソフトウェア	9,416	債権流動化借入金	44,872
リース資産	95	リース債務	1,950
その他	39,625	債務保証損失引当金	4,044
投資その他の資産	429,296	ポイント引当金	70,661
投資有価証券	39,075	利息返還損失引当金	10,947
関係会社株式	51,196	受入保証金	912
出資金	0	負ののれん	324
関係会社出資金	16	その他	3,850
長期貸付金	10,000	負債合計	1,736,932
関係会社長期貸付金	316,759	純資産の部	
長期前払費用	4,429	科目	金額
差入保証金	1,887	株主資本	318,128
繰延税金資産	72,555	資本金	75,929
その他	1,257	資本剰余金	84,386
貸倒引当金	△67,882	資本準備金	82,497
繰延資産	350	その他資本剰余金	1,889
社債発行費	350	利益剰余金	163,644
資産合計	2,059,435	利益準備金	3,020
		その他利益剰余金	160,624
		別途積立金	143,455
		繰越利益剰余金	17,169
		自己株式	△5,831
		評価・換算差額等	4,373
		その他有価証券評価差額金	5,909
		繰延ヘッジ損益	△1,535
		純資産合計	322,502
		負債・純資産合計	2,059,435

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体損益計算書

科目		金額	
営業収益			
クレジットサービス事業収益			
包括信用購入あっせん収益	98,172		
カードキャッシング収益	47,770		
証書ローン収益	2,612		
業務代行収益	20,840		
クレジットサービス関連収益	7,998	177,393	
リース事業収益		14,669	
ファイナンス事業収益			
信用保証収益	9,770		
ファイナンス関連収益	2,132	11,902	
不動産関連事業利益			
不動産関連事業収益	477		
不動産関連事業原価	471	5	
金融収益		6,236	
営業収益合計		210,207	
営業費用			
販売費及び一般管理費		153,505	
金融費用			
支払利息	17,600		
その他	1,208	18,809	
営業費用合計		172,314	
営業利益		37,893	
営業外収益			3,205
営業外費用			96
経常利益		41,001	
特別利益			
関係会社株式売却益	7,140		
災害損失引当金戻入額	5,308		
債権売却益	433		
投資有価証券売却益	23	12,905	
特別損失			
関係会社事業整理損失	69,235		
投資有価証券評価損	512		
退職給付制度改定損	240		
減損損失	30		
固定資産除却損	17		
その他	3	70,040	
税引前当期純損失		16,133	
法人税、住民税及び事業税	12,225		
法人税等調整額	△33,972	△21,747	
当期純利益		5,613	

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

東日本大震災に関する義援金 最終寄付金額のご報告

2012年3月31日まで実施いたしておりました、永久不減ポイントおよびカード決済による東日本大震災に関する義援金につきまして、金額が確定いたしましたのでご報告申しあげます。皆さまからお預かりいたしました義援金は、日本赤十字社・各県を通じて被災された方々にお届けいたしました。

寄付をいただきましたカード会員の皆さまの温かいご支援に心から感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

【義援金寄付総額】 637,500,000円

●日本赤十字社…591,792,500円 ●青森県…3,656,000円 ●岩手県…8,576,000円 ●宮城県…12,654,000円 ●福島県…20,821,500円

※永久不減ポイントによる寄付、カード決済による寄付、当社からの義援金の合計

CSR活動 赤城自然園 Akagi Nature Park

当社は「赤城自然園」の運営を通じて、多くの子供たちに自然のすばらしさを体験する場を提供し、豊かな日本の自然を次世代に引き継いでいく活動に取り組んでおります。運営2年累計で約5万1,000人の皆さまにご来園いただいております。

今後も当社の活動にご賛同いただいている企業のお力添えのもと、息長くこのメセナ活動に取り組んでまいります。

赤城自然園の環境保全活動をサポートしていただいております。

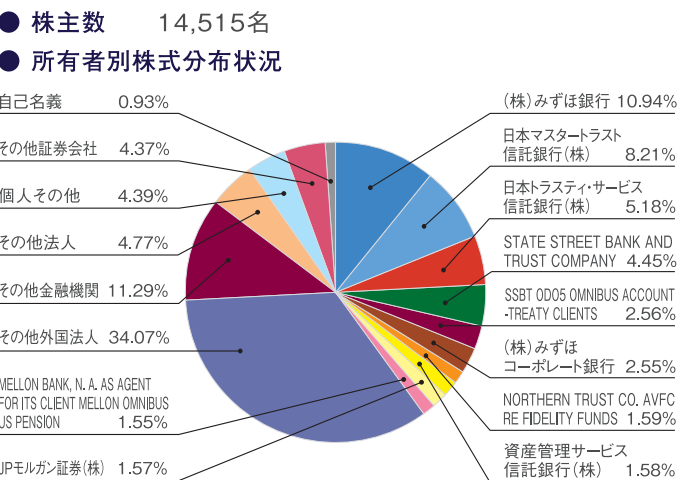


●永久不減ポイントで、赤城自然園の環境保全活動にご参加いただけます。詳しくは赤城自然園ホームページ (akagishizenen.jp) をご覧ください。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

● 発行可能株式総数
300,000,000株
● 発行済株式の総数
185,444,772株
● 大株主（上位10名）
(持株比率は自己株式を除く)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
(株)みずほ銀行	200,931	10.94
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	150,792	8.21
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	95,100	5.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	81,842	4.45
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	47,009	2.56
(株)みずほコーポレート銀行	46,755	2.55
NORTHERN TRUST CO. AVFC RE FIDELITY FUNDS	29,254	1.59
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	29,006	1.58
JPモルガン証券(株)	28,813	1.57
MELLON BANK, N. A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	28,399	1.55



会社概要 (2012年3月31日現在)

● 商号	株式会社クレディセゾン
● 英文表記	Credit Saison Co., Ltd.
● 設立	1951年5月1日
● 資本金	75,929,364,408円
● 従業員数	1,865名 他に嘱託、パートおよびアルバイトの期中平均雇用人員は1,353名(1日7.75時間換算)
● 本社	〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F
● 主要な事業内容	① クレジットサービス事業…クレジットカード事業およびサービサー(債権回収)事業など ② リース事業……………リース事業 ③ ファイナンス事業…………信用保証事業およびファイナンス関連事業 ④ 不動産関連事業…………不動産事業および不動産賃貸事業など ⑤ エンタテインメント事業…アミューズメント事業など
● 役員	代表取締役社長 林野 宏 取締役 覺正 純司 常勤監査役 櫻井 勝 代表取締役副社長 前川 輝之 取締役 平瀬 和宏 常勤監査役 村上 喜堂 代表取締役専務 高橋 直樹 取締役 清水 定 監査役 山本 恵朗 常務取締役 金子 美壽 取締役 松田 昭博 監査役 土岐 敦司 常務取締役 山路 孝真 取締役 青山 照久 常務取締役 山本 寛 取締役 山本 善久 常務取締役 山下 昌宏 取締役 岡本 龍成

株主メモ

● 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
● 定時株主総会	毎年6月開催
● 基準日	定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日 期末配当金受領株主確定日 3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
● 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
● 株主名簿管理人事務取扱所(郵便物送付先)(電話照会先)(インターネットホームページURL)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417(9:00～17:00 土・日・祝日を除く) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
● 公告の方法	電子公告(http://www.saisoncard.co.jp)
● 上場証券取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】 株券電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様は、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株主優待制度廃止について】 株主優待制度は廃止しております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。